

## 道路行政マネジメントについて

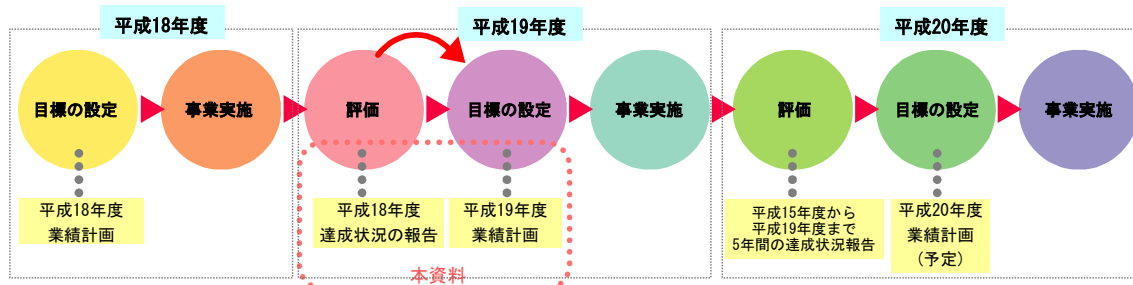
### ひきつづき県民との協働による道路行政マネジメントシステムを

- これからの成熟型社会では、これまでのような「事業量」に重点を置いた道路整備ではなく、道路サービスによる成果「アウトカム」を重視し、県民・道路ユーザーが満足する道路行政を進めていくことが重要となります。
- 茨城県と国土交通省では、平成15年度より、県民・道路ユーザーにとっての成果を重視するアウトカム指標を用いた業績評価を中心とした新たな道路行政運営の仕組み(道路行政マネジメント)を導入しています。
- 昨年度にひきつづき、今年度もより良い道路行政を推進するため、“道路見える化計画”など県民との協働による道路行政マネジメントに取り組み、身近なニーズにきめ細やかに対応していきます。



## 本資料について

- 本資料は、昨年度の目標がどの程度達成されたかを示す「達成状況の報告」と、今年度の成果目標である「業績計画」をあわせて整理したものです。
- 「達成状況の報告」は、平成18年度の実施事業を踏まえ、目標値に対する達成状況の報告と評価を行うものです。その内容に応じて、平成19年度の取り組みに反映します。
- 「業績計画」では、平成19年度の成果目標、各種事業の計画を提示します。平成15年度から平成19年度までの5年間の目標について、来年度の「達成状況の報告」において評価を行います。



## 本資料の流れ

### 1 茨城県の概況と課題

茨城県の道路交通を取り巻く状況と課題について解説

### 2 平成18年度 達成状況の報告

昨年度策定した成果目標の達成状況を報告・評価

### 平成19年度 業績計画

設定しているアウトカム指標について、平成19年度の成果目標を策定

※ここでは単年度で評価可能な指標を取り扱います。

### 3 中期的な目標

単年度の評価ではなく、業績計画の区切りとなる5年間(平成19年度)で中期的な目標達成を目指す指標を整理

### 4 茨城県の道路整備状況

平成18年度に実施した施策・事業および現在進めている事業を紹介